

## 審議会等の議事の要旨(要点)

会議名称	立川市地域公共交通会議(書面開催)	
意見集約期間	令和3年8月25日(水)～9月2日(木)	
議題	<p>1. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くるりんバスの運行状況について</li> <li>・市議会で採択された2件の陳情について</li> <li>・今後の課題について</li> </ul> <p>2. 協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くるりんバス西砂ルートの一部変更について</li> </ul>	
配布資料	<p>資料1:くるりんバスの運行状況について</p> <p>資料2:市議会で採択された2件の陳情について</p> <p>資料3:今後の課題について</p> <p>資料4:くるりんバス西砂ルートの一部変更について</p> <p>参考資料:立川市地域公共交通会議設置要綱</p>	
出席者	<p>[委員]</p> <p>岡村敏之会長、野澤英一副会長、 佐藤祐浩委員、新井淳一委員、早田俊介委員、米澤暁裕委員、 小池毅委員、伊藤正人委員、村本慎治委員、小林理哉委員、 小泉伸介委員、土岐雅人委員、植木修委員、上田茂雄委員、 菊池伸一朗委員、櫻井未来委員</p> <p>[事務局]</p> <p>庄司康洋(交通対策課長)、加藤暁子(交通企画係長)、 一ノ瀬達郎(交通企画係)</p>	
意見集約: くるりんバスの運行状況について		
<委員>	<事務局>	
<p>&lt;委員&gt;</p> <p>西砂ルートは錦ルートに比べて今年度の回復が良いがなぜか。</p> <p>西砂ルートは回復もよく、収入も上がっているが収支率は錦ルートよりも悪い。ダイヤ改正などの収支改善策の予定はあるか。</p>	<p>&lt;事務局&gt;</p> <p>通勤時間帯の利用者減少幅の違いなどの要因が考えられますが、詳細については乗車時間帯毎の乗車人員の推移などについて確認させていただきたいと考えております。</p> <p>西砂ルートの収支率については課題があり、収支改善策の検討が必要な状況となっておりますが、依然として新型コロナウイルス感染症による影響が長期間にわたり続いていることから、コロナ後の利用者数の動向を見極めながら再検討していくこととしたいと考えております。</p>	

<p>&lt;委員&gt;          コロナ感染が拡大して、緊急事態が発出されて行動の自由が制限されている中での収支率は平時になれば改善される可能性が十分あると思います。</p>	
<p>&lt;委員&gt;          コロナ禍で外出を控える方が多いなかで、生活に必要な物品の購入、通院など、くるりんバスが移動に必要なインフラになっていることが伺えます。</p>	
<p>&lt;委員&gt;          今回は止むを得ぬものの、車両の寿命は確実に迫っています。また収支率 30%を上回るといっても持続可能な水準(近隣他市は概ね1ルート、もしくは1台当たりの年間赤字額 500 万円程度)を大きく超えています。いつまでも問題を先送りせず、くるりんバス事業の全面廃止とこれに代わる新たな交通手段の検討を開始して下さい。</p>	
<p>意見集約： 市議会で採択された 2 件の陳情について</p>	
<p>&lt;委員&gt;</p>	<p>&lt;事務局&gt;</p>
<p>&lt;委員&gt;          西砂地区に関しては、本会議協議事項にもかかわることから、継続して地域と調整いただきたい。また、地域住民が本件について単なる「市へのお願い事項」としてとらえるのではなく、自ら参画しつくりあげていくという意識を、住民と行政、加えて必要に応じて事業者とともに構築していただきたい。</p>	<p>&lt;事務局&gt;          8月 25 日に周辺自治会の役員の皆さんと意見交換会を行いました。今後も、意見交換会等を行い、継続して地域と調整をしていきたいと考えております。</p>
<p>&lt;委員&gt;          運行事業者の対応としては利用状況を踏まえたものとなるのはやむを得ない。</p>	
<p>&lt;委員&gt;          栄町の陳情について、立川～北町のルートを栄町経由にすれば可能になりますが、一部狭い場所を改善できれば可能だと思います。</p>	<p>&lt;事務局&gt;          ルートの一部に道路が狭い等の理由で安全が確保できないほか、歩道がなくバス停を設置できないなど現状ではバス路線とするのは難しいと考えます。</p>

<p>&lt;委員&gt;</p> <p>西砂の件について、担当地区の地域福祉コーディネーターからも現状を伺っております。自家用車がない方にとって、移動手段の充実は生活の豊かさに直結する問題だと思いますので、住民の要望を踏まえた早急な対応が必要だと考えます。</p>	
<p>&lt;委員&gt;</p> <p>栄町について:過去にも(6年前?)同内容の陳情が採択されたものの、実現には至っていません。採算性のみならず、上弁天交差点を(旭会から立川ろう学校へ)右折する路線は認可されていない事も理由なのですが、地元の方々には説明されているのでしょうか。このままではいつまでも議論が平行線をたどります。無理は承知ですが、近隣路線バスの統合によりこの地域の要望にお応えできないか提案します。</p> <p>西砂町について:堀向線(当時は松中団地操車場発着)はそれまで1日5往復であったものを昭和63年より市が補助金を投入し4倍以上の22往復に大幅増便した経緯があります。当初より沿線人口に対して供給過多、地域の交通流動と合致していないことが強く指摘されてきました。今回は無理ですが、堀向線への補助金支出は止め、西砂ルートと統合した立川市独自の補助バスへの切り替えに着手して下さい。</p>	<p>&lt;事務局&gt;</p> <p>ご提案の立51と立53のルートの統合は、ルートにおいて下弁天と多摩車検場の間に一部に道路が狭い箇所が含まれるため、現状ではバス路線とするのは難しいと考えます。</p> <p>くるりんバスは「路線バスの補完」という運行コンセプトとしており、現状の路線バス路線を維持したいと考えております。</p>
<p>意見集約：今後の課題について</p>	
<p>&lt;委員&gt;</p>	<p>&lt;事務局&gt;</p>
<p>&lt;委員&gt;</p> <p>①については、今後、コロナ禍の旅客動向等を含めて見極める必要があり、くるりんバス全体のルート再編等の検討は、引き続き必要であることは同意見です。②については、次回、調査結果等のご報告を確認させていただきたいと思っております。</p>	

<p>&lt;委員&gt; 新型コロナウイルス感染症の影響がどこまで続くのか見えない中では、利用動向を正確に把握するのは困難。with コロナを見据えた考え方も必要か。</p>	<p>&lt;事務局&gt; 新型コロナウイルス感染症による影響が長期間にわたり続いていることも考慮し、検討したいと考えております。</p>
<p>&lt;委員&gt; 我々も「地域課題」として移動に関する問題に向き合っていきたいと思います。</p>	
<p>意見集約： ぐるりんバス西砂ルートの一部変更協議案について</p>	
<p>&lt;委員&gt;</p>	<p>&lt;事務局&gt;</p>
<p>&lt;委員&gt; 西砂ルートの一部変更案に賛成しますが、短期的な処置とは。</p>	<p>&lt;事務局&gt; 本来であれば、運行基準や路線バスとの関係性を踏まえてルート再編の議論を要するところですが、早急な対応が必要であることから、暫定的な措置として経費やダイヤの変更が最小限となるようルートの一部変更をさせていただきたいと考えております。</p>
<p>&lt;委員&gt; 短期的な措置として、必要な変更と考えます。地域とのコミュニケーションを密に行い、今回の検討の体制や進め方が、今回の変更のみならず、今後の再編の検討にも生かせるような形で進めていただきたい。</p>	<p>&lt;事務局&gt; 8月 25 日の意見交換会(資料1参照)でも様々なご意見をいただき、地域との協議・調整を重ねる必要性を感じましたので、ルート案を含め、地域、関係機関等と再度検討してまいります。地域住民との話し合いを重ねて案を作り上げることで、さらに利用しやすく親しまれるコミュニティバスとなればと考えております。</p>
<p>&lt;委員&gt; 地域、関係機関との協議をして、振り分け案を決めていくことに賛成します。</p>	
<p>&lt;委員&gt; 住民からの要望に対し、早急に対応いただいたことでよい方向に進んでいると思います。自治会など、直接意見交換できる場を設けられたことも双方にとって良かったのではないのでしょうか。今後も、持続可能な形で立川の交通諸課題が解決されていくことを望みます。</p>	

<委員>

検討されている一部変更では西砂殿ヶ谷、西砂町二丁目双方とも停車便数(乗車チャンス)が大幅に失われます。また、西砂小前は道路幅員が狭くバス同士の行き違いは絶対に避けなければなりません。(現行、西砂循環線は(以前のダイヤでも)終日バス1台で運行され途中すれ違いは発生しない)

こうしたことから、(西砂ルートダイヤは一切変更しないまま)

- ①西砂循環(平日5本)は現行通り。
- ②西砂ルートは平日上りのみ(スクールゾーンを避けるため概ね09:00以降の終日)全便西砂町二丁目経由、下りは全便、現行の西砂殿ヶ谷経由が望ましいと思います。

<事務局>

土休日は西砂循環線の本数が11本あるため、平日についてルートの一部変更を検討させていただきたいと考えております。道路幅員が狭い箇所等については安全性にも配慮し交通管理者、地元との協議を重ねルートの検討を行いたいと考えております。

意見集約： その他の意見について

< 委員 >	< 事務局 >
<p>&lt; 委員 &gt; 錦ルート9時台の直行便は、利用者が少ないのではないか。</p>	<p>&lt; 事務局 &gt; 錦ルート9時台の直行便については、7時台の直行便には及ばないものの8時台の直行便と同程度以上の利用者数となっております。</p>
<p>&lt; 委員 &gt; 20年、30年先の災害に強く魅力のあるまちづくりを公募又は専門家に依頼して作る。交通不便地域も解消するよう。</p>	<p>&lt; 事務局 &gt; 長期的な視点に基づいた再編手法等につきましては、ルート的大幅な見直しや再編を行う際に議論させていただきたいと考えます。</p>
<p>&lt; 委員 &gt; ・錦ルートについて(今後もぐるりんバス事業を継続するのなら) ①南口のりば変更(現行③のりばを⑤のりばへ。ルートも下りに限り、グランデュオ前→JRA角右折→錦中央通りへ(④のりばの15-2系統と同じルート)) ②曙支線と完全一体化 上りは北口→曙支線曙三西公園南まで→立川通り→立川病院(構内)→錦ルート錦町四丁目から現行ルートで南口へ。下りは南口→錦ルート立川行イン(構内)まで→右折し立川通り→二小南から曙支線現行ルートで北口へ。(これにより、現行車両数、要員で可能な限り運行回数確保と上水車庫との回送時間短縮を図る) ・曙支線のみ廃止は認めるわけにはいきません。廃止の前に最大限努力して下さい。 ・なお、個人的には錦ルートも含めて全面廃止し、代替交通手段として京王バス65.66系統の南口⑤のりばへ変更が望ましいと考えますが…</p>	
担当	まちづくり部交通対策課交通企画係 電話 042-523-2111(2279)